



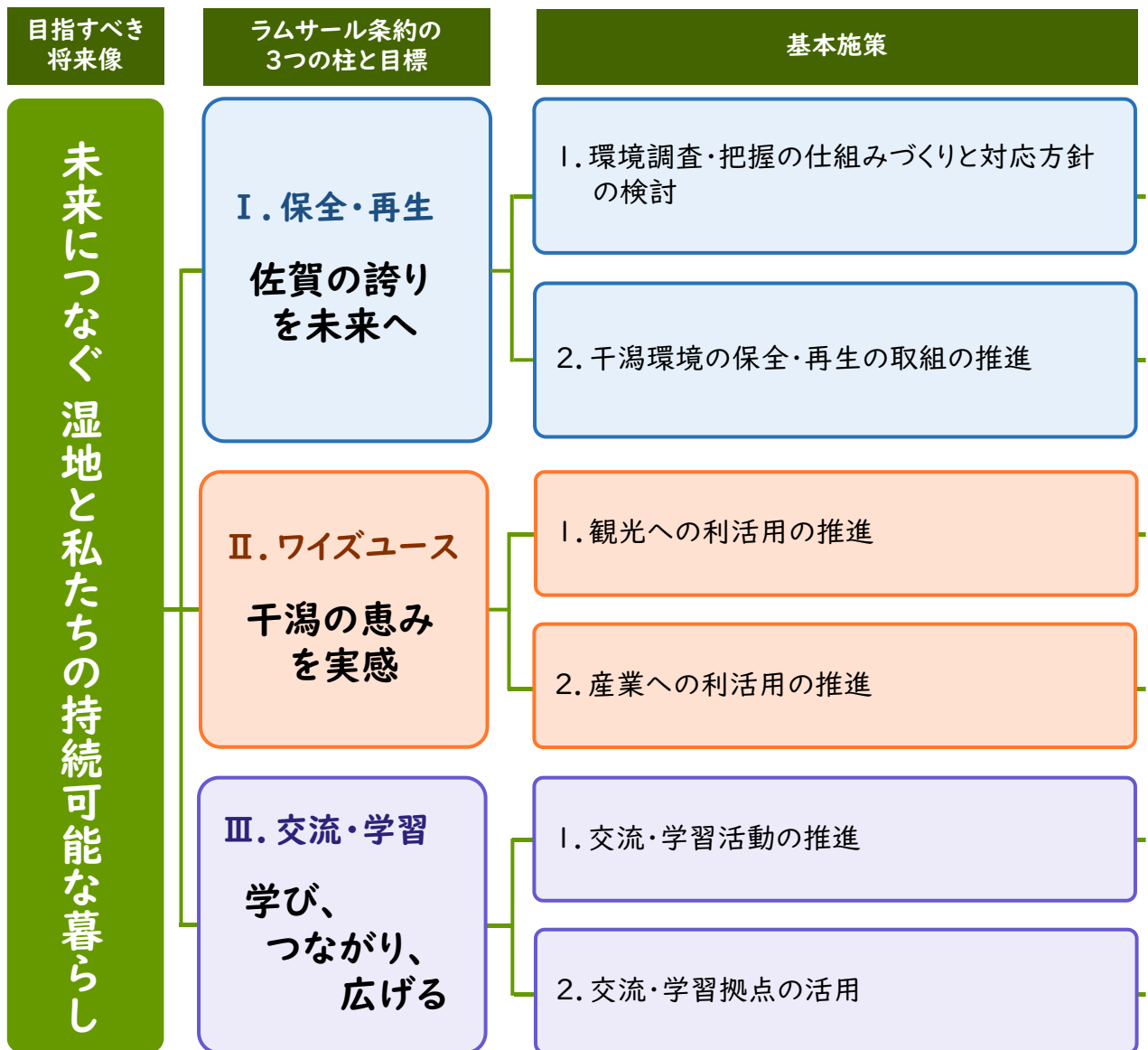
# 第4章

## 具体的な取組の展開

1. 取組の体系	46
2. 保全・再生 ~佐賀の誇りを未来へ~	48
3. ワイズユース ~干潟の恵みを実感~	53
4. 交流・学習 ~学び、つながり、ひろげる~	57
5. 重点施策	63

# 1. 取組の体系

目指すべき将来像及びラムサール条約の3つの柱と目標を踏まえ、6つの基本施策と 17 の取組を設定します。





## 取組

- ① 環境データの定期的な収集
- ② 環境変化の要因把握のための調査の実施
- ③ 環境情報の共有の仕組みづくり
- ④ 干潟環境の変化の把握と中長期的な対応方針の検討の仕組みづくり

- ① シチメンソウの保全活動
- ② 海岸漂着物対策（海洋プラスチック問題）
- ③ 流域を対象とした環境保全、防災・減災の推進
- ④ 干潟及びその周辺の生物の生息環境の保全・再生

- ① 新規来訪者の獲得とリピーターの確保

- ① 東よか干潟の文化や技術の継承
- ② 干潟の恵みを感じるラムサールブランド商品の開発、販路の検討
- ③ ブルーカーボン・クレジットの活用可能性の検討

- ① あらゆる世代を対象とした交流・学習の機会の創出
- ② 多様な視点を取り入れたプログラムの実施・検討
- ③ 他の条約湿地との情報交換・交流・連携の推進

- ① 拠点施設の機能拡充と情報発信による認知度の向上
- ② 施設展示と体験プログラムの充実

## 2. 保全・再生 ~佐賀の誇りを未来へ~

### 基本施策 I-1. 環境調査・把握の仕組みづくりと対応方針の検討

#### 施策の方向性

生物多様性の保全・再生に係る取組を検討・実践していくためには、基盤となる干潟の環境データのほか、そもそも干潟にどのような生物がいて、どのように暮らしているのか把握する必要があります。年変動の大きい自然環境データから環境変化の傾向を読み取り、課題を抽出するため、同一の調査項目による定期的かつ継続的な調査に取り組みます。さらに、課題となる環境変化が確認された場合には、その原因を把握するための新たな調査に取り組みます。

また、入手した環境情報を一元管理するためのデータベースの構築を検討するほか、市内で環境課題の共有を図るための情報公開の方法を検討します。さらに、環境変化の把握と中長期的な対応方針の検討を組織的に行うための仕組みづくりに取り組みます。

#### 取組 I-1-① 環境データの定期的な収集

##### ■ 渡来する野鳥の調査の実施

環境省「モニタリングサイト 1000」などの枠組を活用し、東よか干潟に渡来する野鳥の種類や数を継続的に調査します。渡来種数の増減、その他の問題点の兆候を早期に把握し、生物多様性の適切な保全を行うための基礎データとして活用します。

主な関係者  
佐賀市 環境政策課  
日本野鳥の会 佐賀県支部

##### ■ 干潟の底生生物調査の実施

東よか干潟及びその周辺に生息する底生生物の種類、生息範囲、生息数を継続的に調査します。干潟環境及び生態系の変化を速やかに把握し、絶滅危惧種の保全や外来種対策に係る基礎データとして活用します。

佐賀市 環境政策課  
佐賀大学

##### ■ シチメンソウなどの植物調査の実施

東よか干潟及びその周辺の植物相を把握し、必要に応じて新たな環境調査を実施します。

佐賀市 環境政策課



野鳥の調査・観察



干潟の底生生物調査



シチメンソウ底質塩分環境調査



**取組 I-1-2 環境変化の要因把握のための調査の実施**

<p>■ <b>干潟の環境調査の実施</b></p> <p>干陸化の進む東よか干潟及びその周辺において、環境変化の状況を多面的な視点で把握するとともに、環境変化により発生すると考えられる懸念事項を整理し、その対策や対応方針について検討します。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 東よか干潟環境保全及び ワイズユース推進会議構成員 など</p>
<p>■ <b>海岸漂着物が干潟の動植物に与える影響調査の実施</b></p> <p>海岸漂着物が干潟の生物に与える影響を調査・把握し、海岸清掃の効果的な時期・方法を検討するための基礎データとして活用します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



潟泥の堆積が進む干潟



干潟に漂着した流木やごみ

**取組 I-1-3 環境情報の共有の仕組みづくり**

<p>■ <b>各種調査データ・記録の確認・集積</b></p> <p>東よか干潟及びその周辺に関する環境データを集積し、過去と現況の比較検討を行い、今後の対策につなげるための資料とします。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課</p>
---	----------------------------

**取組 I-1-4 干潟環境の変化の把握と中長期的な対応方針の検討の仕組みづくり**

<p>■ <b>関係機関との協議の場の設置</b></p> <p>「東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議」で定期的に調査結果の報告と情報交換を行うとともに、そこで抽出された環境課題（干潟の干陸化、シチメンソウの立ち枯れなど）に対しては必要に応じて部会を設置し、対応方針について検討します。</p>	<p>主な関係者 東よか干潟環境保全及び ワイズユース推進会議構成員</p>
---	--



東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議

**基本施策 I-2. 干潟環境の保全・再生の取組の推進**

**施策の方向性**

東よか干潟及びその周辺環境が抱える環境課題を解決するため、基本施策 I-1. 「環境調査・把握の仕組みづくりと対応方針の検討」で導き出された中長期的な対応方針に基づき、効果的な保全・再生の取組を推進します。

これまで行ってきた「シチメンソウの保全活動」、「海岸漂着物対策」、「流域を対象とした環境保全、防災・減災の推進」を引き続き推進していくとともに、新たに把握された環境課題についても対策に取り組めます。

**取組 I-2-① シチメンソウの保全活動**

<p>■ <b>シチメンソウの群生の保全 (シチメンソウヤード)</b></p> <p>シチメンソウの種取り・種まき、海岸漂着物の除去作業など、シチメンソウの群生の保全に取り組めます。また、シチメンソウの里休憩所の運営を通じてシチメンソウ保全活動の普及啓発を行います。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 東与賀支所 シチメンソウを育てる会</p>
<p>■ <b>市職員による海岸の随時監視と清掃</b></p> <p>「ひがさす」と連携したシチメンソウヤードの監視、関係機関や地域団体等と協働して随時海岸清掃を行います。</p>	<p>佐賀市 環境政策課 東与賀支所</p>



シチメンソウ保全活動(種取り)



シチメンソウに覆いかぶさった漂着物

**取組 I-2-② 海岸漂着物対策 (海洋プラスチック問題)**

<p>■ <b>海岸清掃イベント・キャンペーンの開催支援</b></p> <p>「有明海クリーンキャンペーン・ACT CLEAN SAGA (県民一斉清掃)」、「有明海クリーンアップ作戦 (有明海沿岸四県合同清掃)」、企業による海岸清掃イベントの開催などを支援し、市民がポイ捨てや不法投棄などの現状を認識し、環境保全意識の向上や行動することの大切さを知ってもらう機会とします。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 環境保全課 東与賀支所</p>
<p>■ <b>海岸漂着物の現状を知ってもらうための広報活動の実施</b></p> <p>海岸漂着物の発生の状況や原因などについて庁内担当者間で情報共有するとともに、筑後川流域の環境保全活動を行う主体の集まる筑後川フェスティバルなどを利用して、情報の発信に努めます。また、市のホームページなどを活用して市民への普及啓発に努めます。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



■ 海岸漂着物の円滑な処理と適正処理の推進

海岸漂着物に起因する海岸環境の悪化や漁業被害へ対応するため、既設の補助制度等を活用した漂着物対策のための恒常的予算措置や体制を構築します。

主な関係者  
佐賀市 水産振興課  
環境政策課



有明海クリーンキャンペーン・ACT CLEAN SAGA  
(県民一斉清掃)



重機による海岸漂着物の回収



海洋プラスチック問題に関する子ども向けセミナー



海洋プラスチック問題に関する展示

取組 I-2-③ 流域を対象とした環境保全、防災・減災の推進

■ 森林の有する多面的機能の持続的発揮の促進

干潟に漂着する流木や土砂などを軽減するため、流域内森林の土砂災害防止機能、洪水緩和機能など、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるための適正管理を進めるとともに、森・里・川・海にわたる総合的な環境保全の取組を推進します。

主な関係者  
佐賀市 森林整備課

■ 河川、水路の整備・清掃等による干潟へのごみの流入対策の推進

干潟へのごみの流入を防止するため、流域内河川や水路、住宅地周辺の清掃活動への支援を実施します。

佐賀市 農村環境課  
森林整備課  
河川砂防課

■ 森・里・川・海の環境保全対策の必要性についての啓発

海洋プラスチック問題をはじめ、干潟や海の環境が森や川などの陸上からの影響を受けることについて、講演会の開催などを通じて啓発に取り組みます。

佐賀市 環境政策課

**取組 I-2-④ 干潟及びその周辺の生物の生息環境の保全・再生**

<p>■ <b>鳥類の生息環境の保全・再生</b></p> <p>鳥類の営巣環境の整備、伝染病予防の取組など、鳥類保護のための生息環境の保全・再生の活動に取り組みます。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 日本野鳥の会 佐賀県支部</p>
<p>■ <b>水生生物の生息環境の保全・再生</b></p> <p>市が実施する公共工事の実施にあたって、絶滅危惧種をはじめとする水生生物の生息環境への影響をなるべく抑えるように工事の調整を行い、保全・再生の取組を推進します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



筑後川水源学習(1)



筑後川水源学習(2)



水生生物保全に関する学習会(1)



水生生物保全に関する学習会(2)



木柵水路(1)



木柵水路(2)



### 3. ワイズユース ~干潟の恵みを実感~

#### 基本施策Ⅱ-1. 観光への利活用の推進

##### 施策の方向性

東よか干潟及びその周辺の特異な自然景観や生物などを満喫する体感・体験型イベント等の開催・PR 及び環境整備を通じて、新規来訪者の獲得とリピーターの確保に取り組みます。

#### 取組Ⅱ-1-① 新規来訪者の獲得とリピーターの確保

<p>■ 季節・周年イベントの継続開催</p> <p>「干潟の祭典シチメンソウまつり」、「夕暮れコンサート」、「ラムサール条約湿地登録周年記念イベント」、「シギチフェス」など、干潟の季節ごとの魅力を楽しみ、条約登録を記念するイベントを開催し、年間を通した賑わいを創出します。イベントの開催を通じて、東よか干潟の環境保全への関心を高めるとともに、取組関係者の交流や、干潟の魅力の PR に取り組みます。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 東与賀支所 東与賀まちづくり協議会 シチメンソウを育てる会 日本野鳥の会 佐賀県支部</p>
<p>■ 各種媒体を活用した干潟の魅力の発信・PR</p> <p>国内最大の干満差を誇る有明海の潮汐、泥干潟特有の珍しい生き物、日本一の渡来数を誇るシギ・チドリ類、国内最大のシチメンソウ群落地などのほかにない特徴や、特定の季節や時間帯でのみ見ることのできる絶景を、各主体のホームページをはじめ SNS、雑誌、パンフレットなどを通じて国内外に発信し、誘客につなげます。</p>	<p>佐賀市 広報課 観光振興課 環境政策課 佐賀市観光協会</p>
<p>■ 外国人観光客の誘致と来訪者のための滞在環境整備</p> <p>外国人を意識した多言語による情報発信（プロモーションムービー、パンフレット、案内看板）を行います。また、現地で喜ばれる対応などについて調査し、実施の検討を行います。</p>	<p>佐賀市 観光振興課 環境政策課 佐賀市観光協会</p>
<p>■ 干潟よか公園との連携</p> <p>干潟よか公園を含めた「ひがさす」周辺の一体的な利活用の方策を検討し、干潟環境に親しむのとは別目的で訪れた人に対し、干潟に目を向けるきっかけづくりに取り組みます。</p>	<p>佐賀市 南部建設事務所 環境政策課</p>
<p>■ 各種大会行事の視察先としての活用</p> <p>市内で開催される行政や民間の各種大会における視察先として東よか干潟を組み込むなど、佐賀市の魅力を体感できる場所としての定着とリピーターの確保を図ります。</p>	<p>佐賀市 観光振興課 環境政策課 佐賀市観光協会</p>

■ その他の多様な利活用メニューの検討と継続

東よか干潟及びその周辺的环境資源や立地環境、市内のその他観光地との連携など、様々な視点からの利活用メニューを継続実施していくとともに、新たな利活用の方法を検討していきます。

【主な取組内容】

- ・ウォーキング、サイクリングコースの設置とシェアサイクルの設置
- ・下水道マンホールカード(ムツゴロウ)の「ひがさす」での配布 など

主な関係者  
佐賀市 観光振興課  
環境政策課  
歴史・文化課  
上下水道局  
佐賀市観光協会



干潟の祭典シチメンソウまつり

東与賀海岸に群生する塩生植物シチメンソウは、晩秋になると海岸線に赤い絨毯を広げたように鮮やかに紅葉し「海の紅葉」と呼ばれ、晩秋の風物詩となっています。この時期に、地域の農業・水産業・商業を広く紹介し、観光の発展と地域の活性化を図るため、「シチメンソウまつり」を開催しています。

夕暮れコンサート

楽器の演奏を聴きながら茜色に染まった夕暮れの美しい干潟の絶景と秋のひと時を楽しむ「夕暮れコンサート」を開催しています。



シギチフェス

シギ・チドリ類の渡来数日本一を誇る東よか干潟。「春の渡り」が行われる4～5月頃に、たくさんの渡り鳥を見て・感じて、自然豊かな干潟環境を楽しみ、考える「シギチフェス」を開催しています。



ラムサール条約湿地登録周年記念イベント

東よか干潟のラムサール条約湿地登録を記念し祝うとともに、これまでの環境保全とワイズユースの取組を評価し、今後の活動につなげるための記念イベントとして「ラムサール条約湿地登録周年イベント」を開催しています。

干潟よか公園

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」の隣にある大きな公園です。芝生広場やおもしろ自転車、家族で楽しめる遊具などがたくさん設置されています。「じゃぶじゃぶ池」は夏の水遊びに大人気です。



下水道マンホールカード(ムツゴロウ)

有明海とムツゴロウの関係性をユーモアたっぷりにデザインしたご当地マンホールの蓋を紹介するマンホールカードを、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」などで配布しています。



**基本施策Ⅱ-2. 産業への利活用の推進**

**施策の方向性**

干潟の恵みである水産物や干潟環境の保全の取組によって育まれた農産物を、漁家や農家の所得向上、地域産業の持続的な発展につなげるための仕組みづくりに取り組みます。

東よか干潟の伝統漁法を活用する「東よか干潟の文化や技術の継承」のほか、東よか干潟の取組の資金源として活用が見込まれる「ブルーカーボン・クレジット」の活用可能性の検討を行います。また、「干潟の恵みを感じるラムサールブランド商品の開発、販路の検討」では、これまで検討してきた「シギの恩返し米」の取組の普及等に取り組みます。

**取組Ⅱ-2-① 東よか干潟の文化や技術の継承**

■ 伝統漁法による前海の幸の持続的利用

ムツゴロウやワラスボなど有明海特有の魚介類を伝統漁法により漁獲し、生活の糧として活用します。また、郷土料理の食材として、干潟の食文化を継承します。

主な関係者  
佐賀県有明海漁業協同組合  
東与賀町支所

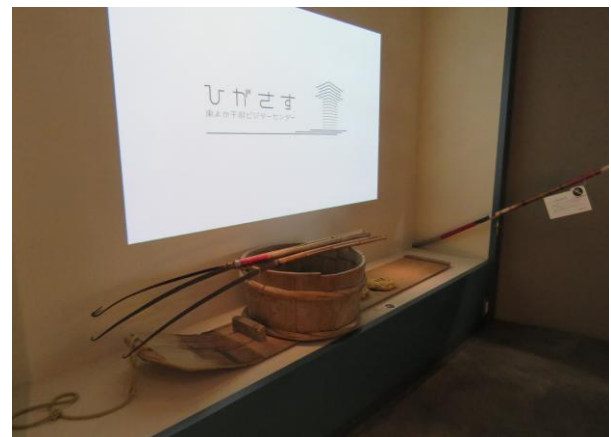
■ 有明海特有の魚介類や伝統漁に使用する漁具の展示と保存

「ひがさす」において、生き物の生体や伝統漁に使用する漁具の展示、企画展の開催等を行い、有明海の特徴と魅力を伝えるとともに、東よか干潟の伝統漁や生物の保全につなげます。

佐賀市 環境政策課



干潟の歴史に関する展示



漁具の展示

**取組Ⅱ-2-② 干潟の恵みを感じるラムサールブランド商品の開発、販路の検討**

■ 佐賀海苔をはじめとした有明海の幸の販売・PR

東よか干潟及びその周辺を海苔養殖漁場として今後も有効活用していきます。また、ムツゴロウやワラスボなどの干潟の珍しい魚介類の資源維持に努めながら漁獲し、佐賀海苔とともに販売したり、新たな販路の拡大やラムサールブランドとしてPRすることで、海産物への付加価値と水産業の振興を図ります。

主な関係者  
佐賀市 水産振興課  
佐賀県有明海漁業協同組合  
東与賀町支所

<p>■ シギの恩返し米による環境保全型農業の推進</p> <p>シギの恩返し米の生産や、取組の普及啓発に取り組みます。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 東与賀支所</p>
<p>■ シギの恩返し米を通した東よか干潟後背地(農地)を含めた環境保全</p> <p>シギの恩返し米を中心にWWFジャパンや提携販売者との協働した取り組みの普及啓発に取り組みます。</p> <p>【主な取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京の販売店でのPR</li> <li>・市民参加の水路の生き物調査</li> <li>・消費者との交流</li> </ul>	<p>佐賀市 東与賀支所 シギの恩返し米生産部会</p>
<p>■ シギの恩返し米を通した学校現場における教育活動</p> <p>シギの恩返し米の学校給食での提供活動及び学校現場における教育活動に取り組みます。</p>	<p>佐賀市 東与賀支所 シギの恩返し米生産部会 東与賀小学校</p>



シギの恩返し米の栽培  
[出典:シギの恩返し米推進協議会 Web ページ]



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」におけるシギの恩返し米販売

**取組Ⅱ-2-③ ブルーカーボン・クレジットの活用可能性の検討**

<p>■ 東よか干潟ブルーカーボンの機能評価</p> <p>東よか干潟(泥干潟)におけるブルーカーボン機能は明らかにされていないため、継続的な現地調査などを検討します。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 佐賀大学</p>
--	-------------------------------------



## 4. 交流・学習 ~学び、つながり、ひろげる~

### 基本施策Ⅲ-1. 交流・学習活動の推進

#### 施策の方向性

東よか干潟の価値や重要性を多くの人に体感・体験してもらうため、あらゆる世代を対象とした交流・学習の機会を創出します。また、干潟の多様な魅力を総合的に学習するためのプログラムを検討・実施します。さらに、東よか干潟以外の条約湿地との情報交換・交流・連携を推進します。

#### 取組Ⅲ-1-① あらゆる世代を対象とした交流・学習の機会の創出

<p>■ ボランティアガイドの養成・運営による現地ガイドの充実</p> <p>東よか干潟を訪れる人に干潟の価値や魅力を伝える「東よか干潟ボランティアガイド」を養成し、現地に配置します。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ 東よか干潟ラムサールクラブの運営</p> <p>市内小学校4年生～中学校3年生を対象とした、干潟の活動を通じて東よか干潟のすばらしさを多くの人に伝える未来のリーダーを育成します。また、ラムサールクラブ卒業後も東よか干潟との関係を継続できるような仕組みを整備します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ 学校教育現場での学習の取組支援</p> <p>東よか干潟やシチメンソウについて、市内小学校3・4年生のための社会科副読本を整備し、佐賀の誇る財産としての理解を深めます。また、東よか干潟の価値や魅力を現地で体感するプログラムに取り組む市内外の小中学校に対し、ボランティアガイドの配置やワークショップの実施など効果的な学習活動の支援を行います。</p>	<p>佐賀市 環境政策課 学事課 など</p>
<p>■ 探求型・アクティブラーニング型修学旅行の誘致</p> <p>東よか干潟を題材とした事前の学習課題の設定、現地での情報の収集、事後の情報の整理・分析と、とりまとめた内容の発表の一連の活動に取り組む探求型・アクティブラーニング型修学旅行の誘致に取り組めます。</p>	<p>佐賀市 教育委員会 環境政策課 佐賀市観光協会 東よか干潟環境保全及び ワイズユース推進会議構成員</p>
<p>■ 東よか干潟交流塾の開催</p> <p>大人の教養講座として、科学的な知見に根ざした有明海講座を開催します。高校や大学の講座の一環として、ラムサール登録湿地の学習が単位として取得できるレベルの地球環境学の設置などを検討します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課 佐賀大学</p>



東よか干潟ボランティアガイド



東よか干潟ラムサールクラブの活動(1)



東よか干潟ラムサールクラブの活動(2)



東よか干潟ラムサールクラブの活動(3)



地元小中学生の干潟体験(1)



地元小中学生の干潟体験(2)



**取組Ⅲ-1-② 多様な視点を取り入れたプログラムの実施・検討**

<p>■ <b>東よか干潟の体験プログラムの開発と実施</b></p> <p>東よか干潟でじかに干潟の魅力を体感することができる体験メニューを検討するとともに、年間を通じたプログラムを開発します。また、小中学校などの要望に合わせて野鳥観察会などの一般向けのプログラムを実施します。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課 佐賀市観光協会 東与賀まちづくり協議会</p>
<p>■ <b>様々なニーズに対応した教材、教育プログラムの整備・充実</b></p> <p>年齢、知識の習熟度、興味のある分野について、個人の希望に添える学習・教育プログラムの整備・充実を図るとともに、特に湿地保全における若者のリーダーシップを確保します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ <b>東よか干潟周辺環境を活かしたプログラムの開発と実施</b></p> <p>東与賀海岸での星空観察会や、後背農地周辺水路での淡水魚観察など、東よか干潟周辺の環境を活かした体験プログラムを検討し、実施します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ <b>東よか干潟や有明海に関する歴史や文化の収集・活用</b></p> <p>地元東与賀町の干拓の歴史や有明海の干潟漁などを後世に伝えるため、資料や書籍を収集するとともに、佐賀市出前講座のプログラムやラムサールクラブでの学習教材として活用します。</p>	<p>佐賀市 水産振興課 環境政策課 東与賀支所</p>



周辺クリークでの水生生物観察



星空観察会

[出典:佐賀市星空学習館 Web ページ]

**取組Ⅲ-1-③ 他の条約湿地との情報交換・交流・連携の推進**

<p>■ <b>子ども湿地交流会への参加と開催</b></p> <p>国内のラムサール条約湿地で活動する子どもたちとの交流活動に参加します。また、周年行事等で子ども湿地交流会を開催し、他の湿地や国内外に向けて、子ども目線で東よか干潟の魅力を発信する機会を設けます。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課</p>
--	----------------------------

<p>■ <b>ラムサール条約湿地関係市町村会議への参加</b></p> <p>全国のラムサール条約湿地が所在する市町村で構成される会議に参加し、関係市町村間の情報交換及び協力を推進することにより、地域レベルの湿地保全活動の推進を図ります。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ <b>有明海ラムサール3湿地の連携推進</b></p> <p>有明海のラムサール条約登録3湿地（荒尾干潟、東よか干潟、肥前鹿島干潟）における行政及び市民レベルでの情報交換、交流、イベントの共同開催、市民だよりの定期発行などの連携に引き続き取り組みます。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ <b>国内外の条約湿地などとの交流の推進</b></p> <p>ラムサール条約湿地や東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地との情報交換や交流を推進し、湿地間の連携とネットワークの構築を強化するほか、姉妹湿地をはじめ、国外湿地との交流・連携を進めます。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ <b>全国規模のイベントや会議の開催</b></p> <p>ラムサール条約湿地や湿地の保全などに関する国際会議や国内の大規模会議を佐賀市に誘致し、湿地の管理に携わる様々な国、地方政府、NGO、科学者、民間セクター、地域の人々との情報共有や議論の場を提供します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



アメリカのクパルック湿地との姉妹湿地締結式



韓国のシナン群の湿地の現地視察・関係者との交流



基本施策Ⅲ-2. 交流・学習拠点の活用

施策の方向性

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」の交流・学習拠点としての機能を充実させていくため、施設活用のための利便性の確保と、情報発信による認知度の向上を図ります。

また、魅力的な施設展示と体験プログラムの充実を図り、様々な組織や個人の希望に沿った学びの機会を提供します。

取組Ⅲ-2-① 拠点施設の機能拡充と情報発信による認知度の向上

<p>■ 交通手段と交通網の整備</p> <p>東よか干潟へ直接アクセスするための交通手段の確保を検討します。また、現在計画が進められている有明海沿岸道路には東与賀町にインターチェンジが設置される予定であることから、新たな交通網を考慮した干潟への導線と誘客について検討します。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 観光振興課 交通政策課 環境政策課</p>
<p>■ 干潟に関わる主体が常時集い情報交換などが可能な場の確保</p> <p>干潟の環境保全やワイズユースに関わるボランティア、バードウォッチャー、NPO などとの連携や協働を図るため、これらの人が常時集い、情報交換や情報発信が可能な場を確保します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ ひがさす公式ホームページや SNS による情報発信</p> <p>年間を通じて東よか干潟の価値や魅力、季節ごとの見どころ、イベントの開催情報などについて分かりやすく情報発信を行います。また、一般ユーザーに干潟の情報を発信してもらう仕組みを検討し、旬の魅力をリアルタイムで発信する取組を実施します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」交流スペース  
(干潟に関わる主体が常時集い情報交換などが可能な場の一つ)



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」のホームページ

取組Ⅲ-2-② 施設展示と体験プログラムの充実

<p>■ 専門員の配置と育成 東よか干潟の保全、利活用、交流・学習を担う専門員を「ひがさす」に配置するとともに、専門的な知見を有する人員の育成を図ります。</p>	<p>主な関係者 佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ 市内外の環境学習の場として活用 環境学習の場としての機能を充実し、市内外からの校外学習の場としてのより一層の定着・利用を目指します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>
<p>■ 交流学習施設の連携 佐賀市における環境学習の拠点施設である「佐賀市エコプラザ」と「洞鳴の滝小水力発電活用施設」、「ひがさす」が連携し合うための効果的な学習プログラムを検討・実施します。</p>	<p>佐賀市 環境政策課</p>



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」施設展示の一部



## 5. 重点施策

本章で示した取組は、全て目指すべき将来像「未来につなぐ湿地と私たちの暮らし」の実現に必要なものです。中でも、様々な主体が連携しながら統合的に進める取組は、単独で実施する取組よりも大きな相乗効果や波及効果が期待できます。

そこで本計画では、新規に立ち上げる取組で、様々な主体が横断的に関わるもののうち特に初期の体制づくりなど、軌道に乗せるまでに調整が必要な取組「取組Ⅰ-Ⅰ-② 干潟の環境調査の実施」、「取組Ⅲ-Ⅰ-① 探求型・アクティブラーニング型修学旅行の誘致」を着実に実施できるよう、重点施策として設定します。

これらの取組を進めるには、関係者が自らの役割や求められる内容を意識し、スケジュール感を共有する必要があります。

重点施策として設定した取組は 2025(令和7)年度から 2029(令和11)年度の計画期間初期 5年間の作業の概略を設定し、その後は進捗に合わせて内容の見直しを行うこととします。

**重点施策Ⅰ. 干潟の環境調査の実施（取組Ⅰ-Ⅰ-②）**

干陸化の進む東よか干潟及びその周辺において、環境変化の状況を多面的な視点で把握するとともに、環境変化により発生すると考えられる懸念事項を整理し、その対策や対応方針について検討します。

本計画期間初期の5年間で、検討のための組織の立ち上げ、懸念事項の整理、データ・参考資料の収集、調査計画の作成を行い、以降継続的に監視や順応的対応を行っていくための基盤を構築します。

**重点施策Ⅰ 推進計画**

主な活動	関係者等	対応年度(予定)				
		2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)
<b>①干潟の環境保全・再生に関する検討部会の設置</b> 東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議として、干陸化など干潟の環境変化に関する対応を検討する部会の設置を検討します。	・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議 構成員					
		部会構成員は必要に応じて更新				
<b>②環境変化による懸念事項の整理</b> 関係団体等へのヒアリングにより、干陸化に付随する懸念事項を収集・整理します。	・佐賀市環境政策課 ・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議(部会)構成員					
		必要に応じて適宜実施				
<b>③データ・参考資料の収集</b> 懸念事項を体系的に整理し、それぞれの項目に関連する既存資料、その他地域の参考事例等の収集・整理を行います。	・佐賀市環境政策課 ・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議(部会)構成員					
		必要に応じて適宜実施				
<b>④調査計画の作成</b> 懸念事項の中から検討すべき事項、もしくは対応の優先順位を設定し、今後の調査計画や検討の手順を整理して、誰が実施するか役割分担を行います。	・佐賀市環境政策課 ・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議(部会)構成員					
		検討事項の項目別に作成				
<b>⑤調査の実施</b> 調査計画に従い、関係者が分担してデータの収集・環境監視を実施します。	・佐賀市環境政策課 ・調査担当団体					
<b>⑥結果の報告と評価</b> 部会で年度毎に調査・検討結果の報告を行い、今後の方向性について検討・見直しを行います。その結果については推進会議に報告します。	・佐賀市環境政策課 ・調査担当団体 ・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議(部会)構成員					



**重点施策2. 探求型・アクティブラーニング型修学旅行の誘致（取組Ⅲ-1-①）**

近年、文部科学省の教育課程の基準を定める学習指導要領では、主体的・対話的な深い学び（アクティブラーニング）を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」を培うことが重要視されています。その手段の一つとして、“探求型・アクティブラーニング型修学旅行”が注目されています。佐賀市においても2024（令和6）年に、「ハルーンフェスタによるまちづくり」による修学旅行の誘致が実現しました。これに加え、今後は東よか干潟を題材とした修学旅行の誘致に取り組みます。

探求型・アクティブラーニング型修学旅行では、事前の課題の設定、現地での情報の収集、事後の情報の整理・分析と、とりまとめた内容の発表の一連の流れが求められます。この流れに対応できる“東よか干潟ならではの”魅力的なプログラムの確立・実施体制の整備が求められます。

**重点施策2 推進計画**

主な活動	関係者等	対応年度（予定）				
		2025 （令和7）	2026 （令和8）	2027 （令和9）	2028 （令和10）	2029 （令和11）
<p><b>①交流・学習を推進するための部会の設置</b></p> <p>東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議として、様々な主体が干潟を活用した交流・学習活動の意見交換を行う部会の設置を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市教育委員会</li> <li>・佐賀市観光協会</li> <li>・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議 構成員</li> </ul>					
		<p>← 部会構成員は必要に応じて更新 →</p>				
<p><b>②市場及び参考事例調査</b></p> <p>学校関係者等へのヒアリングにより、修学旅行誘致のニーズやシーズを整理します。また、先行事例等の収集・整理をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市教育委員会</li> <li>・佐賀市環境政策課</li> <li>・佐賀市観光協会</li> <li>・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議（部会）構成員</li> </ul>					
		<p>← 必要に応じて適宜実施 →</p>				
<p><b>③修学旅行誘致活動計画の作成</b></p> <p>活用可能なコンテンツの抽出、プログラム案の作成、関係者への調整、周知・宣伝方法の検討など、誘致に向けての作業の手順を整理し、誰がいつまでに実施するかの役割分担を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市教育委員会</li> <li>・佐賀市観光協会</li> <li>・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議（部会）構成員</li> </ul>					
		<p>← 結果の評価を受けて毎年見直しを実施 →</p>				
<p><b>④作業の実施</b></p> <p>修学旅行誘致活動計画に従い、取組を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市教育委員会</li> <li>・佐賀市観光協会</li> <li>・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議（部会）構成員</li> </ul>					
<p><b>⑤結果の報告と評価</b></p> <p>部会で年度毎に取組実績と成果の報告を行い、今後の方向性について検討、見直しを行います。その結果については推進会議に報告します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市教育委員会</li> <li>・佐賀市観光協会</li> <li>・東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議（部会）構成員</li> </ul>					

